

誰にとっての「復興」か？

—住する・寓するの社会倫理—

日時：2019年6月29日(土) 14:00~17:30

場所：南山大学 Q棟 5階 会議室 (13:30開場)

講師：**秦 範子** (都留文科大学 非常勤講師)

演題：被災地の復興計画と持続可能な地域づくり

講師：**松尾 隆佑** (法政大学 兼任講師)

演題：複数のまちに住むこと、あるいは遠くからの自治

司会・コーディネータ：三好 千春 (南山大学社会倫理研究所 第二種研究所員・人文学部 教授)

：森山 花鈴 (南山大学社会倫理研究所 第一種研究所員・法学部 准教授)

コメンテータ：藤川 美代子 (南山大学人類学研究所 第二種研究所員・人文学部 准教授)

主催：南山大学社会倫理研究所 共催：南山大学人類学研究所

社会倫理研究所では、2011年から2014年にかけてシリーズ懇話会「3.11以後何が問われているのか」を実施してきた。東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故から8年を経た今、復興について改めて考えてみたい。

被災地支援や住民支援の際には、「復興」という言葉が必ず出てくるが、それは誰にとっての復興なのだろうか。世の中には改元やオリンピックに浮かれ、すでに復興しているかのような風潮があるが、被災地で不安定な状況の中で暮らしている人もいれば、いまだ避難生活を余儀なくされている人もいる。

本懇話会では、地域に生きる・住まうことについて、震災後の状況を踏まえ、私たちにとっての「復興」とは何を意味するのかを、持続可能な地域づくりの観点から被災地の現場で活動してきた秦範子先生、そして政治理論の観点からステークホルダー・デモクラシーに基づき二重の住民登録の問題を検討してきた松尾隆佑先生をお招きして参加者の皆さんとともに議論する。



【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone : 052-832-3111 (内線 : 3413,3414) Fax : (052)832-3703

e-mail : ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP : <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>